



<https://www.town.okuma.fukushima.jp/site/sha-shinkan/22716.html>

<https://www.facebook.com/okuma/?fbid=1618549345137919&set=pcb.1618551453471041>

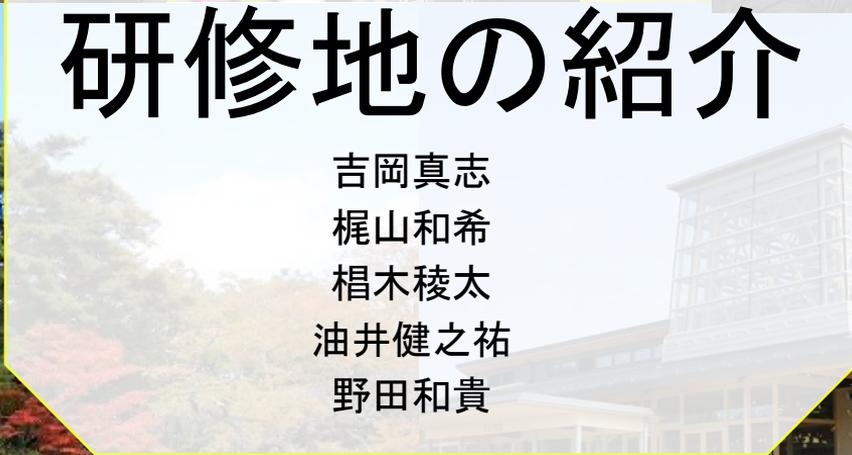
<https://www.minpo.jp/news/moredetail/20230108103835>

研修地の紹介

吉岡真志
梶山和希
梶木稜太
油井健之祐
野田和貴



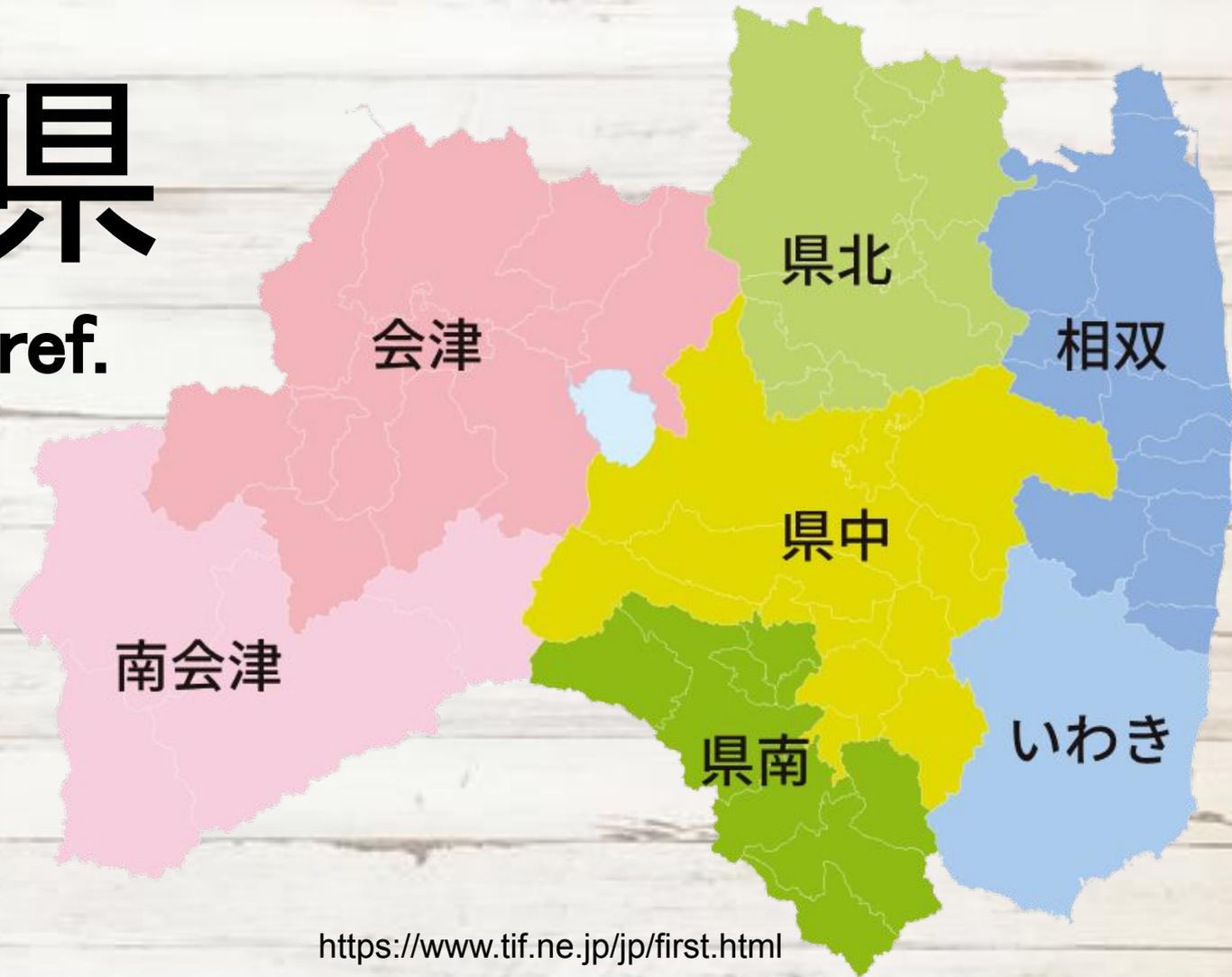
<http://sosobureau.yumesoso.jp/archives/17391>



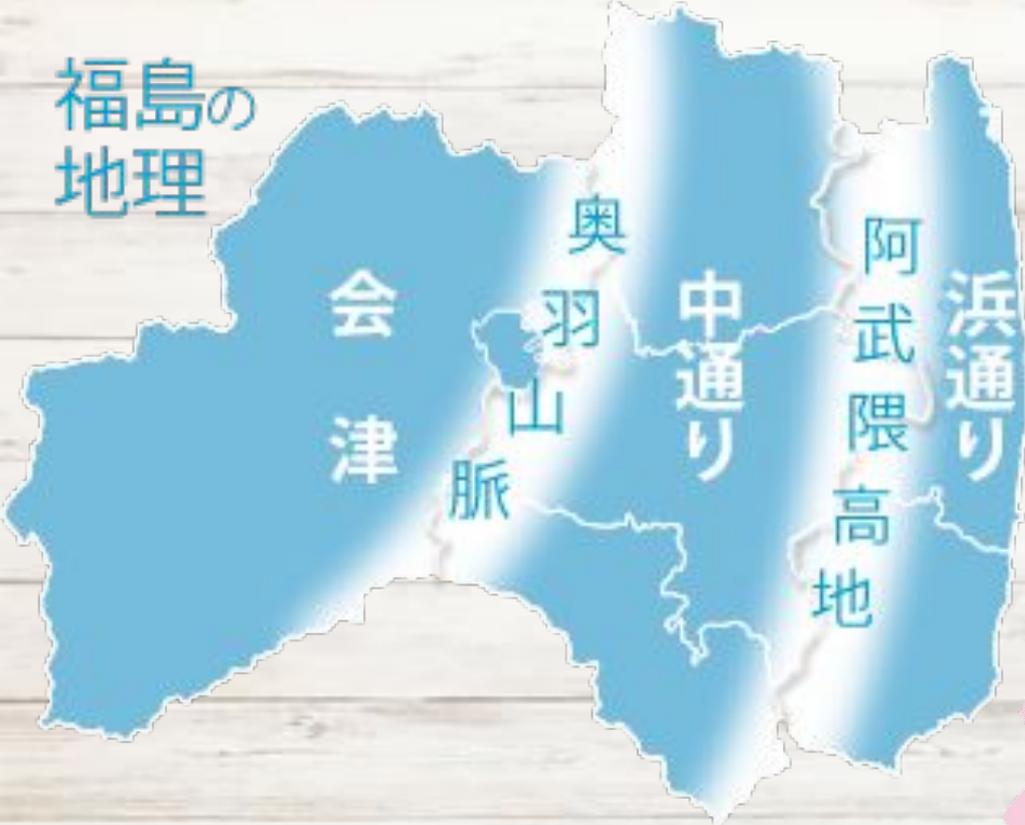
http://www.npo-abukuma.org/michinoeki_iidate/

福島県

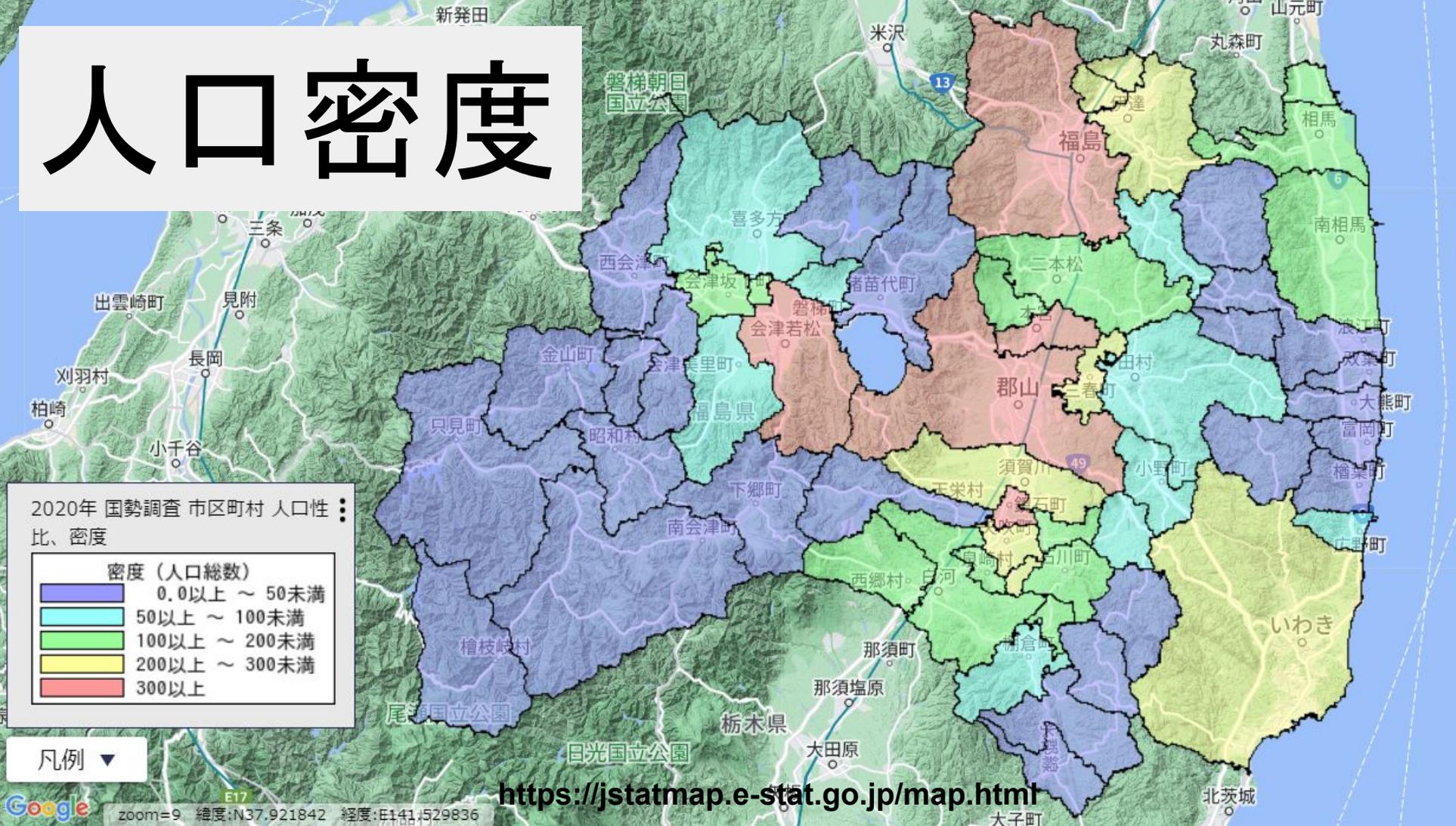
Fukushima Pref.



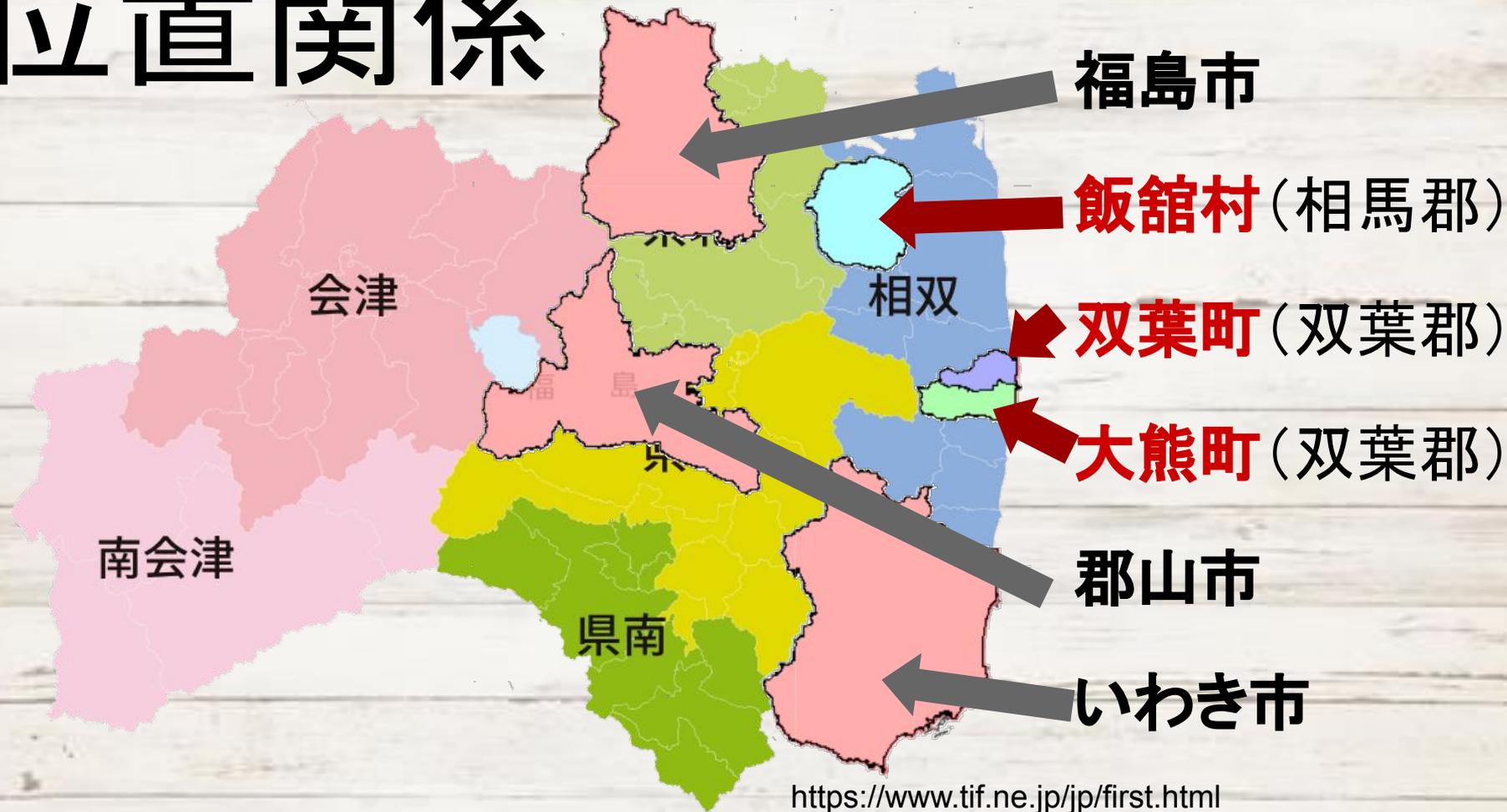
福島の地理



人口密度



位置関係



Iitate Village
飯舘村



http://www.npo-abukuma.org/michinoeki_iitate/

飯舘村の基本情報

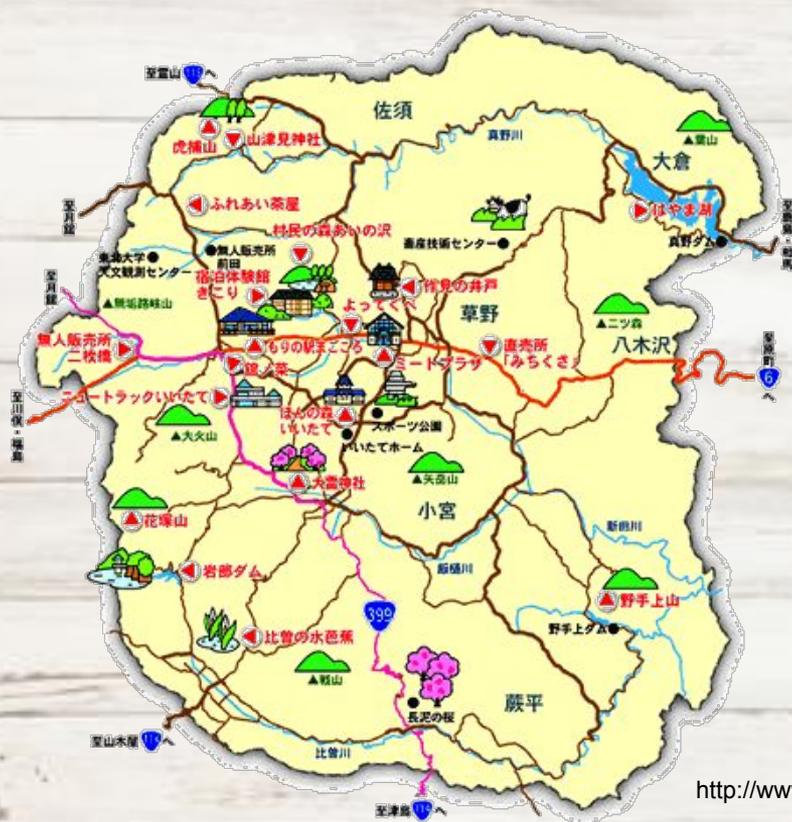
・面積:約230km²

・人口:1522人(2023年6月1日)
(2011年1月1日時点では6152人)

・福島駅から車で約1時間

・山地が多く4分の3が林野で田畑は1割

福島第一原発からは北西に30~50km離れている



特産品や文化



飯舘牛

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/1899>



花卉

<https://www.asahi.com/articles/ASP536QFBP4ZUGTB007.html>

特産品や文化

2010年～
日本で最も美しい村連合に加盟



原発事故による被害

・2011/3/11 津波によって福島第一原発が全電源喪失

・2011/3/15 原発から30km圏に避難指示が出る

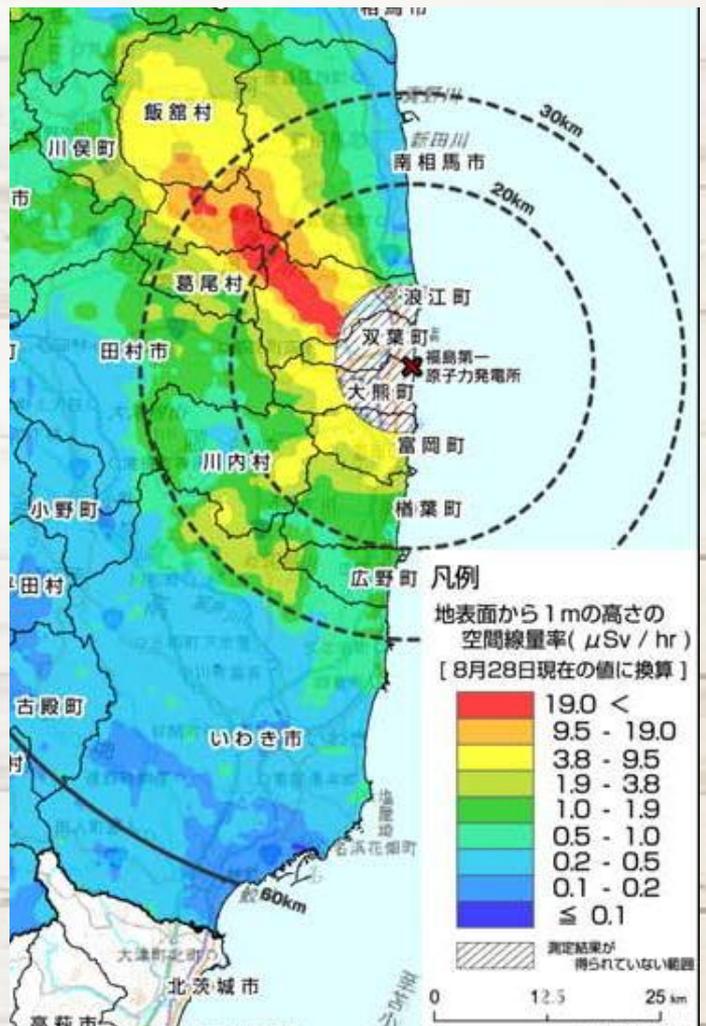
※飯舘村は避難の対象外

→当時は大熊町や双葉町など、原発に近い地域から避難を受け入れていた

・2011/3/15 飯館村役場で高い線量が観測された。

・2011/4/22 飯館村が計画的避難区域に指定される。

- 原発から離れた位置にあったが、風によって北西方向に放射性物質が流され飯館村に到達した。
- 村民のほぼすべては避難。そのうち大部分の住民は福島市を中心とした県内にとどまった。

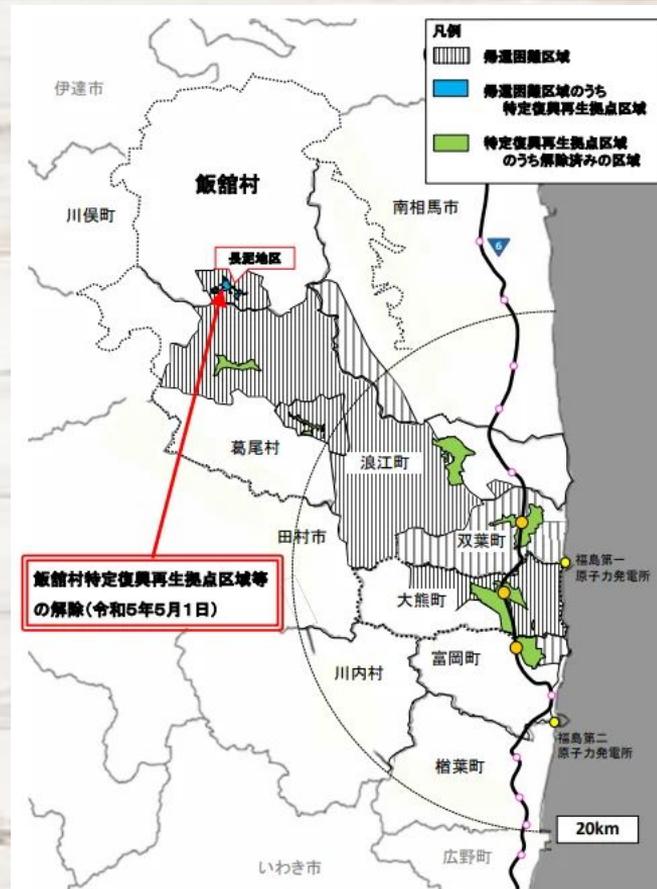


飯舘村の現在

- ・村の大部分の避難指示は既に解除
- ・長泥地区は未だ帰還困難区域に指定

→2023年5月1日に一部解除

- ・長泥地区の一部は特定復興再生拠点区域に指定され、住民の帰還に向けた様々な取り組みが行われた。



飯舘村の現在

- 現在では約1500人が村に戻っている
 - 震災前の人口は約6000人だったので、大部分の住民がまだ帰還していない。
 - 住民意向調査では戻りたいと考えている人の方が多い。
 - 村議会選挙でも地区によって投票率80%を超え、3217人が投票するなど、住民の方の飯舘村への関心の強さがうかがえる。

Okuma Town
大熊町



出典:

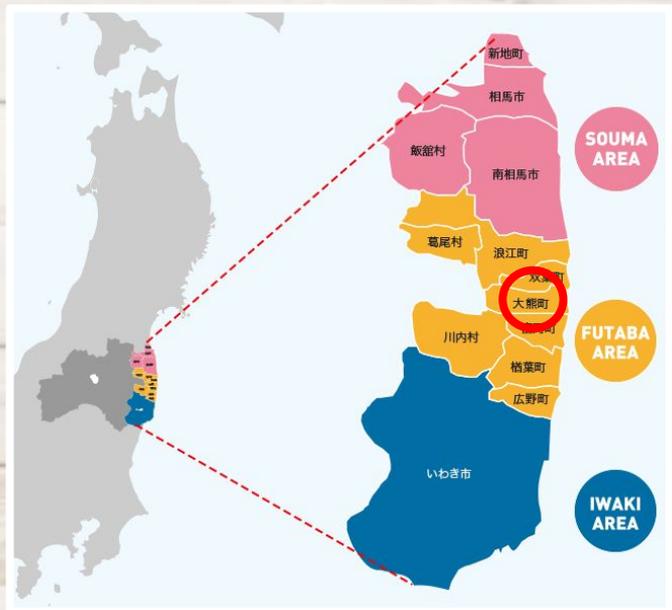
(左上) <https://dempa-digital.com/article/336637>

(右上) <https://www.okumakiwi.com/>

(左下) https://twitter.com/KUMAPRE_okuma

(右下) <https://www.kajima.co.jp/tech/kd/works/309/index.html>

大熊町の基本情報



- ・浜通りのちょうど真ん中にある町
- ・震災前の人口 11,505人
- ・面積 78.7km²
- ・福島第一原発1~4号機が立地している町
(5,6号機は双葉町に、第二原発は富岡町にある)
- ・マスコットキャラクター

おおちゃんくうちゃん

まあちゃん



(出典: <https://fukushima-hamakaido.com/>)

(出典: <https://www.town.okuma.fukushima.jp/soshiki/somu/8585.html>)

特産品や文化

1 梨



- ・「幸水」や「豊水」などの品種が有名
- ・梨を原料とした「梨香」というワインも作られている

2 キウイ



- ・品種名は「ビーナス」
- ・キウイを原料とした「翠のしずく」というワインも作られている

3 鮭



- ・10月初旬から下旬にかけて熊川に遡上する

(出典：<https://www.town.okuma.fukushima.jp/soshiki/somu/1602.html>)

特産品や文化



↑2019年の様子

(出典: <https://www.town.okuma.fukushima.jp/site/shashinkan/14588.html>)



↑2022年の様子

(出典: <https://www.town.okuma.fukushima.jp/site/shashinkan/22716.html>)

・なつ祭りinおおくま

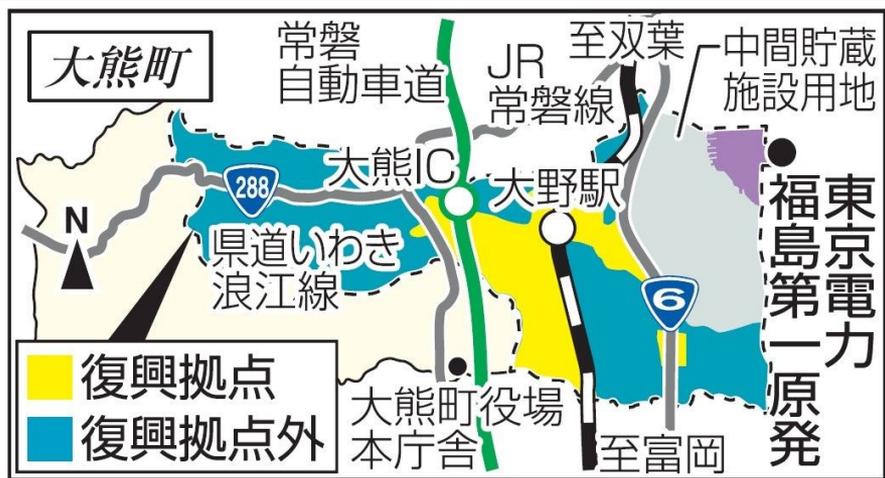
大熊町役場前の広場で開催されるお祭り

キッチンカーやふたば未来学園高校などが出店し、ライブステージや花火、盆踊りなど盛りだくさん！

(上)2019年4月10日に一部地域で避難指示が解除され、避難指示解除後初の開催となった

(下)新型コロナウイルスの影響が小さくなったことを受けて3年ぶりの開催となった

原発事故による被害



(出典: <https://hamasakoi.jp/archives/news1/2022062904/>)

- ・事故以前には11,505人が暮らしていたが、8年間にわたって町全域に避難指示
- ・2019年に居住制限区域と避難指示解除準備区域の避難指示が解除された
- ・2022年6月30日には特定復興再生拠点区域の避難指示も解除され、大川原地区に役場機能が戻り、新たなまちづくりが進められている
- ・2023年6月1日現在の町内居住者は553人
(大熊町に住民登録していない人も含めると1,074人)

復興に向けた歩み

1 KUMA・PRE



- ・2022年2月26日にオープンした地域 活動拠点

- ・JR大野駅から徒歩5分ぐらい

- ・ワークショップやマルシェイベント など、定期的にイベントを開催！

- ・クラフト系ワークショップには毎回20～30人が参加し、町の新たな交流の中心地となっている



(写真はいずれもKUMA・PRE公式Twitterhttps://twitter.com/KUMAPRE_okuma?ref_src=twsrc%5Etfw%7Ctwamp%5Eembeddedtimeline%7Ctwitter%5Escreenshot%3AKUMAPRE_okuma%7Ctwcon%5Es1_c1より引用)

復興に向けた歩み

2 おおくまキウイ再生クラブ



(画像は公式ホームページ
<https://www.okumakiwi.com/>より引用)



- ・「町の方に愛された大熊の美味しいキウイを再生させる」という目標のために2019年に設立された団体
- ・2週間に1回、土曜日の午後に作業会を実施している
- ・作業会は町内外の誰でも、公式ホームページの参加フォームから申し込み・参加が可能！

復興に向けた歩み

3 学び舎 ゆめの森



- ・大熊町役場のある大川原地区に建設予定の、認定こども園、保育園、義務教育学校、学童保育を一体とした施設(今年完成予定)
- ・現在、大熊町の学校に通う子供は約30人
- ・校舎が完成するまでは町役場や交流施設「linkる大熊」、住民福祉センターを仮校舎として利用している

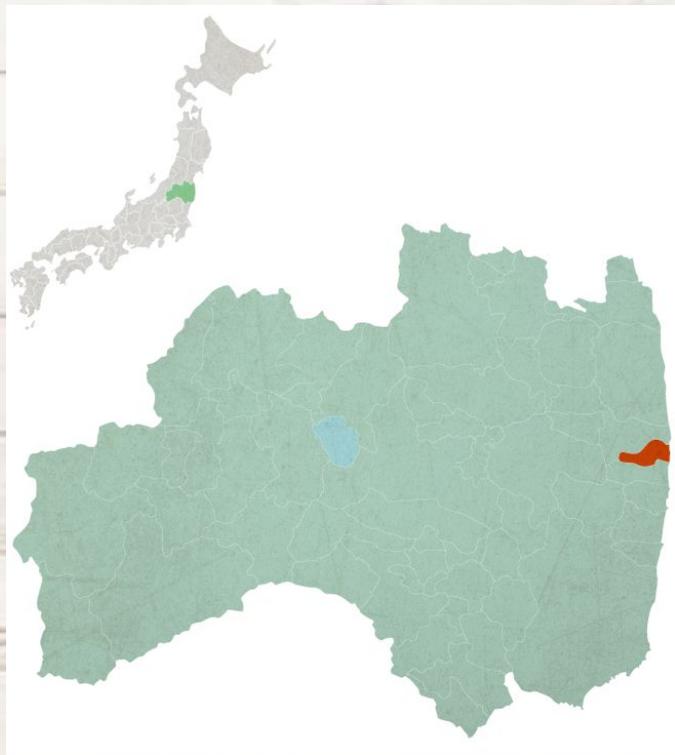
(画像は公式ホームページ <https://manabiya-yumenomori.ed.jp/>より引用)

双葉町



<https://www.reconstruction.go.jp/portal/chiiki/2022/20220117150707.html>

双葉町について



<https://futabadaruma.jp>

- ・福島県浜通り地区のほぼ中央に位置
- ・人口:5489人(2023年4月30日)
- ・面積:51.42km²
- ・福島第一原発の5号機と6号機がある
- ・町のキャラクター:フタバくん



<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/5885.htm>

特産品・文化



双葉ダルマ

- ・300年以上前から続く双葉ダルマ市
毎年1月上旬に開催
- ・30年前に町独自のデザインを考案
「太平洋ダルマ」「町章ダルマ」

<https://futabadaruma.jp/>

観光地



<https://futabada.ruma.jp/>

双葉海水浴場

- ・快水浴場百選、日本の水浴場 55選
- ・毎年8月にサマーチャレンジ inふたば



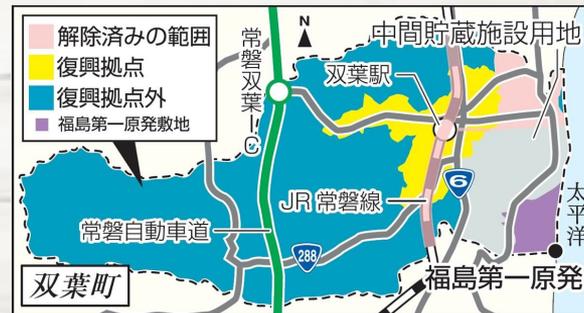
<https://futabada.ruma.jp/>

双葉ばら園

約6万平米に数百種類のバラが約 7000株

原発事故被害

- ・原発事故により、町全域が避難指示区域に
- ・2022年8月30日に一部区域で避難指示が解除
→それまでは福島県内で唯一全町避難が続いていた
- ・令和4年度 of 双葉町住民意向調査
「すでに戻っている」→0.7%
「戻りたいと考えている」→13.6%
「戻らないと決めている」→56.1%
- ・幼稚園、小学校、中学校はすべていわき市
→町内での学校再開に向けた動きがようやく始まる



<https://www.minpo.jp/news/moredetail/2022071598763>

復興の歩み ① 伝承館



東日本大震災・原子力災害伝承館

- ・2020年9月20日開館
- ・震災、原発事故の資料約200点が展示
- ・語り部による講話
- ・被災地域のフィールドワーク

周辺では福島県復興祈念公園も整備
(2025年度中の完成予定)

復興の歩み ②大学生の取り組み

双葉まるごと文化祭

- ・2022年9月23日に開催
- ・太鼓や神楽の演奏
- ・珈琲や焼きそばなどの飲食ブース
- ・「たのしそう」を起点に双葉を知る
- ・多様な人々との新たな対話や交流を生み出す



<https://www.ritsumei.ac.jp/news/detail/?id=2880>

復興の歩み ③双葉ダルマ



<https://futabadaruma.jp/?p=1087>



<https://futabadaruma.jp/?p=1087>



<https://futabadaruma.jp/?p=1034>

- ・双葉ダルマ市が12年ぶりに双葉町で開催
- ・ワークショップ、イベント参加など
- ・ちょうちん事業など新たな取り組みも

参考資料

双葉町観光協会 <https://futabadaruma.jp/>

「8月30日午前0時に避難指示解除 福島県双葉町の復興拠点 居住再開へ 県内3例目」、『福島民報』2022年7月15日、

<https://www.minpo.jp/news/moredetail/2022071598763> (2023年6月5日最終閲覧)

復興庁・福島県・双葉町(2023)『双葉町住民意向調査調査結果(速報版)』<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/secure/14464/R4sokuho.pdf>

福島イノベーション・コースト構想『東日本大震災・原子力災害伝承館』<https://www.fipo.or.jp/lore/> (2023年6月5日最終閲覧)

「新校舎整備へ 学校再開に向け検討委 年度内にも構想 福島県双葉町」、『福島民報』2023年5月30日、

<https://www.minpo.jp/news/moredetail/20230530107609> (2023年6月5日最終閲覧)

立命館大学(2022)「福島県双葉町で町の地域資源を活用した「双葉まるごと文化祭」を開催」<https://www.ritsumei.ac.jp/news/detail/?id=2880> (2023年6月5日最終閲覧)

おおくまキウイ再生クラブ公式ホームページ

<https://www.okumakiwi.com/> (2023年6月9日最終閲覧)

大熊町 公式ホームページ『令和5年6月1日現在の居住状況・避難状況』

<https://www.town.okuma.fukushima.jp/soshiki/jumin/24814.html> (2023年6月9日最終閲覧)

被災地である以前に1つの「まち」「むら」

それぞれの自治体にそれぞれの魅力がある

気になった方はもう少し調べてみましょう！！

ご清聴ありがとうございました！